

大麦だより(第5号)

令和5年2月16日

J A 能 美

明渠の補修と追肥はセット

○管内大麦の生育状況(2月10日時点)

管内の大麦の生育はバラつきが多く、ほ場ごとに追肥の有無を確認し、生育量に応じて追肥を行いましょう。

ほ場により
バラつき大

地区	条間 (cm)	備考	茎数 (本/m)	茎数 (本/m ²)	消雪期 追肥	幼穂長 (mm)	出穂予想 (現時点の目安)
川北 ①	25cm		213	869	不要	3.0	4月16日
川北 ②	25cm		184	754	不要	6.8	4月6日
川北 ③	30cm		190	622	不要	5.4	4月9日
能美 ①	30cm		237	775	不要	2.1	4月21日
能美 ②	25cm	分施	136	548	要	1.8	4月22日
能美 ③	30cm		262	852	不要	2.6	4月18日
根上	30cm		257	926	不要	2.0	4月21日

明渠の補修について

- ・排水不良のままでは、根張りが弱まり、**追肥の効果が期待できません。**
- ・2月中旬までに**明渠の補修を実施**しましょう。

排水溝を連結させる！



排水口

逆勾配になっている



崩れて明渠が埋まっている



消雪期追肥について (2月下旬:平均気温5℃)

越冬後追肥の時期・量を誤ると、**草丈の伸びすぎによる倒伏**や**硝子粒の多発による品質低下**を招くおそれがあります。

R4年産から基肥一発肥料が切り替わり、窒素の溶出が変わっています！

(1) 一発肥料を使用した場合

状態	見た目の生育量 (条間30cm)	生育量のめやす(莖数)		施肥量 (10aあたり)
		条間25cm	条間30cm	
穂数抑制が必要		<u>150本/m以上</u> (600本/m ² 以上)	<u>180本/m以上</u> (600本/m ² 以上)	追肥不要
穂数増加が必要		<u>100~150本/m</u> (400~600本/m ²)	<u>120~180本/m</u> (400~600本/m ²)	NK17号: 6kg (窒素量: 1kg)
		<u>100本/m未満</u> (400本/m ² 未満)	<u>120本/m未満</u> (400本/m ² 未満)	NK17号: 12kg (窒素量: 2kg)

(2) 分施の場合

状態	生育量のめやす(莖数)		施肥量 (10aあたり)
	条間25cm	条間30cm	
穂数抑制が必要	<u>175本/m以上</u> (700本/m ² 以上)	<u>210本/m以上</u> (700本/m ² 以上)	NK17号: 15kg (窒素量: 2.5kg)
穂数増加が必要	<u>150~175本/m</u> (600~700本/m ²)	<u>180~210本/m</u> (600~700本/m ²)	NK17号: 20kg (窒素量: 3.4kg)
	<u>150本/m未満</u> (600本/m ² 未満)	<u>180本/m未満</u> (600本/m ² 未満)	NK17号: 20kg~25kg (窒素量: 3.4~4.2kg)

雑草対策について

雑草は、越冬前に多くのほ場で散見されました。2月の雪解けから雑草も成長を始めます。雑草が大きくなると、除草剤が効きづらくなるので、小さな芽のうちに除草剤で処理しましょう。

	薬剤	使用量	希釈水量	使用回数	使用時期	備考
カラスノエンドウ対策	バサグラン液剤	100~200ml/10a	70~100L/10a	1回	収穫90日前まで	一年生雑草(イネ科を除く)
	アクチノールB乳剤	100~150ml/10a (※)	70~100L/10a	2回以内	穂ばらみ期まで(雑草生育初期)	令和5年産は製造中止(在庫の使用は可) 一年生広葉雑草
スズメノテッポウ対策	ハーモニーDF(水和剤)	10g/10a	100L/10a	1回	節間伸長期まで(スズメノテッポウ葉期まで)	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ

※使用量は、農薬登録上 100~200ml/10a とあるが、大麦およびビール麦の場合は剤への感受性が高いため、150ml/10aまでとすること